国体の応援旗完成

邑久小学校旗づくり実行委員会

縦3メートル、横90センチの晴れの国おかやま国体応援旗が5月12日、完成しました。

7月17日～11月7日、岡山市栄町商店街アーケードへ懸垂展示する「空中美術館特別展」に参加するもので、邑久小学校5・6年の旗づくり実行委員会の皆さんが製作。4月中旬から応援メッセージを公募し、下旬から朝・昼の休憩時間を利用し下書き、5月10・12日の放課後などにアクリル絵の具で色塗りをして仕上げました。

応援旗には、競技種目のセーリングとサッカーの絵と、「最高の輝きを！」「ゴールに向かって一直線☆」の応援メッセージ、邑久小学校の文字と校章が描かれています。

実行委員の一人長瀬美穂子さん（12歳・邑久町山田庄）は、「たくさんの人に、瀬戸内市へ来てもらいたいと思って一生懸命書いた」と話していました。

力強い応援メッセージなどを盛り込み、応援旗つくり

いつまでもお元気で

100歳の藤原きくよさんら祝う

4月28日に邑久町の小林芳江さんが、5月10日に邑久町の藤原きくよさんが、100歳を迎えました。

小林さんは体調を崩し入院中でしたが、東原和郎助役らがお祝い状を持って訪問すると、自らの足で立とうとするなど元気な様子でした。

5月12日、100歳を迎えた藤原さんを祝い、柏葉備前県民局健康福祉課長や東原助役らが錦海荘を訪問。藤原さんは「ありがとうございます」と感謝の言葉を述べられました。

大きなバースデーケーキの前でお祝いを受ける藤原さん

国体に向けサポートを

海上自衛隊と覚書交わす

国体セーリング競技開催まであと100日となった6月2日、石井正弘岡山国体県実行委員会長と立岡脩二牛窓実行委員会長は、広島県呉市の海上自衛隊呉地方総務部で、競技運営協力に関する協定書や覚書にそれぞれ調印しました。

牛窓ヨットハーバーで、9月10日から13日まで開催されるセーリング競技期間中、約50人の自衛隊員が通信・救助など海上での競技運営の協力に当たります。

高橋幕僚長（左）とがっちり握手をする立岡会長

暮らし見つめよう

リサイクルプラザおくで環境フェスタ

リサイクルプラザおくで6月4日、環境フェスタせとうちが開催されました。

市消費生活問題研究協議会が主催。地球にやさしい環境をつくろうと、地球温暖化クイズやリサイクルアイデアコーナー、茶殻のかき揚げのエコクッキング試食コーナーなど盛りだくさんな内容。

「物を大切にすることは大事なことですね。子どもと一緒に環境について考えるよい機会。いろいろ参考になりました」と話す池田初美さん（37歳・長船町土師）でした。

リサイクルでタワシ作り

新鮮な魚や野菜求め大にぎわい

うしまど前島フェスティバル「とれとれ市」

牛窓町前島で6月5日、うしまど前島フェスティバルが開催されました。

前島の良さを大勢の皆さんに知ってもらおうと、前島区の皆さんが主催。市内外から大勢の皆さんがフェリーに乗って島を訪れ、前島産の野菜や捕れたての魚を買い求める人でにぎわいました。

恒例のジャガイモ収穫体験も大人気で、家族連れらが懸命に畑のジャガイモを掘って袋に詰めていました。

岡山市から訪れたという人は、「3年前から来ています。新鮮な魚が安く買えていいですね。ジャガイモ掘りも収穫の喜びが味わえてうれしいです」と楽しそうに話していました。

新鮮な魚が廉価で販売され、お客さんでにぎわいました

大人気だったジャガイモ収穫体験

練習成果存分に発揮

消防操法訓練大会

県消防操法訓練大会が5月15日、県消防学校（瀬戸町）で開催され、小型操法ポンプの部に市消防団牛窓分団が出場しました（表紙に関連記事）。

昨夏から訓練を重ね大会に臨んだ選手の皆さん。上位入賞を果たすことはできませんでしたが、訓練・大会を通じて技術は向上し、選手・応援団員の絆は深まりました。

災害が発生するといち早く現場に駆け付け、地域の皆さんの生命と財産を守る消防団。訓練の成果と強い絆が、今後の消防活動に反映されることでしょう。

訓練の成果を存分に発揮し、きびきびとした動きを披露した市消防団牛窓分団の選手たち